

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回発信日は8月1日週報(予定)

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「猛暑で牛乳類消費が増加も、前年は下回る～継続的に消費喚起の強化を～」

- ・7/15週の牛乳類の販売個数は、前週(7/8週)と比較すると4品目すべてのカテゴリーで増加した。関東地方含め多くの地域で梅雨明けとなり猛暑の日が続いたことが飲用消費を押し上げたと推察される。
- ・前年比は加工乳以外の3品目が下回り、牛乳類トータルでも前年割れとなった。牛乳は前週より減少幅を縮小させたものの、5週連続で前年を下回っている。一方、加工乳は16週連続で前年を上回っている。
- ・はっ酵乳の販売個数は、3品目すべてのカテゴリーで前週より増加した。前年との比較では、個食タイプと大容量タイプが上回ったもののドリンクタイプが下回り、トータルでも前年割れとなった。
- ・家庭用バターは、価格が横ばいで推移したものの販売個数は4週ぶりに前週を上回り、前年比は3週連続で上回っている。
- ・日本政府観光局の発表によると、6月の訪日外客数は3,135,600人と単月で過去最高を記録した。特に、中国は水際規制緩和などの影響で、前年同月比で3倍以上の大幅増となった。増加基調で推移する外国人観光客をターゲットに定めた販売戦略などは牛乳製品の消費に影響を与える可能性があるため、今後の動向が注目される。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先↓↓

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>

「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009gbz.html>

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(7/15週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:95.8%、成分調整牛乳:86.8%、加工乳:111.5%、乳飲料:99.3%。

牛乳類トータルでは同96.0%

※参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は90.9%。

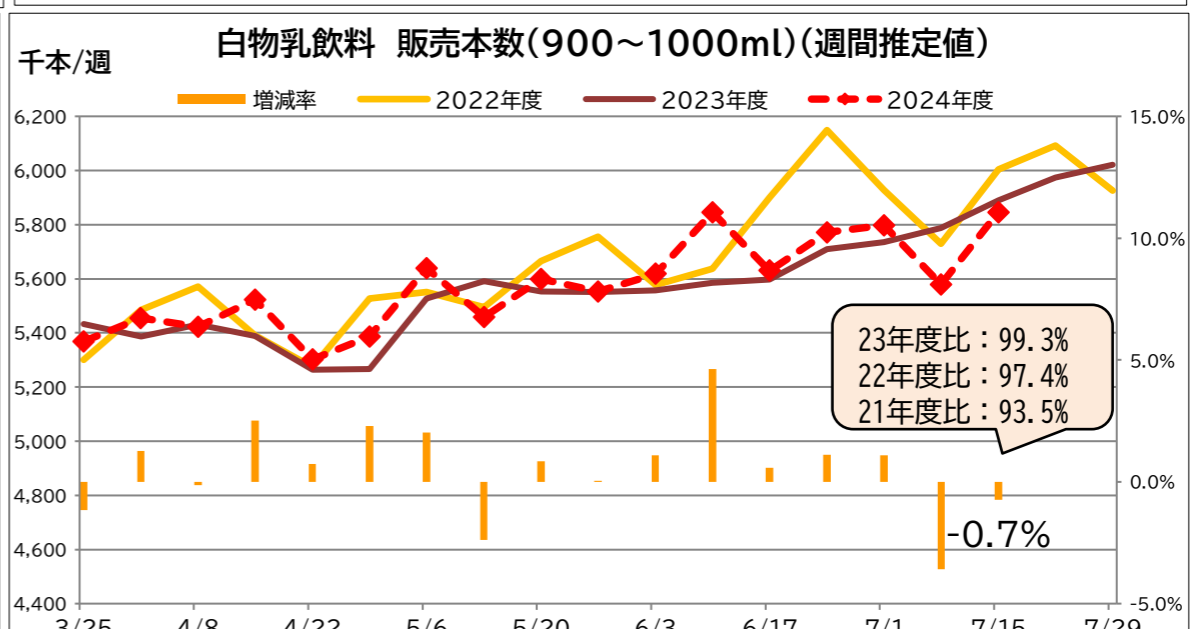
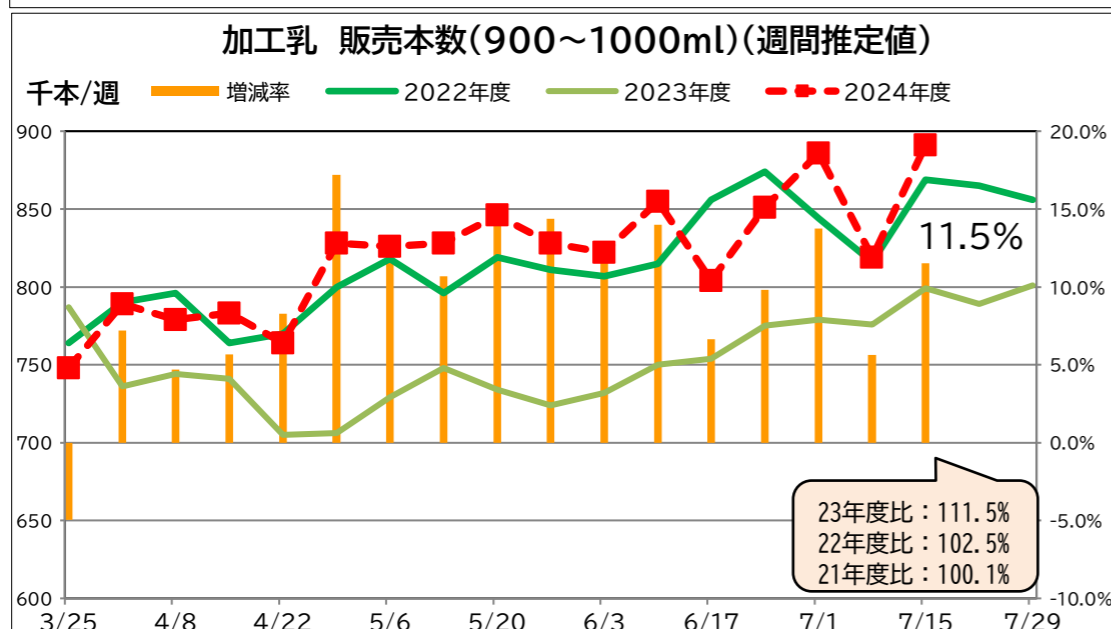
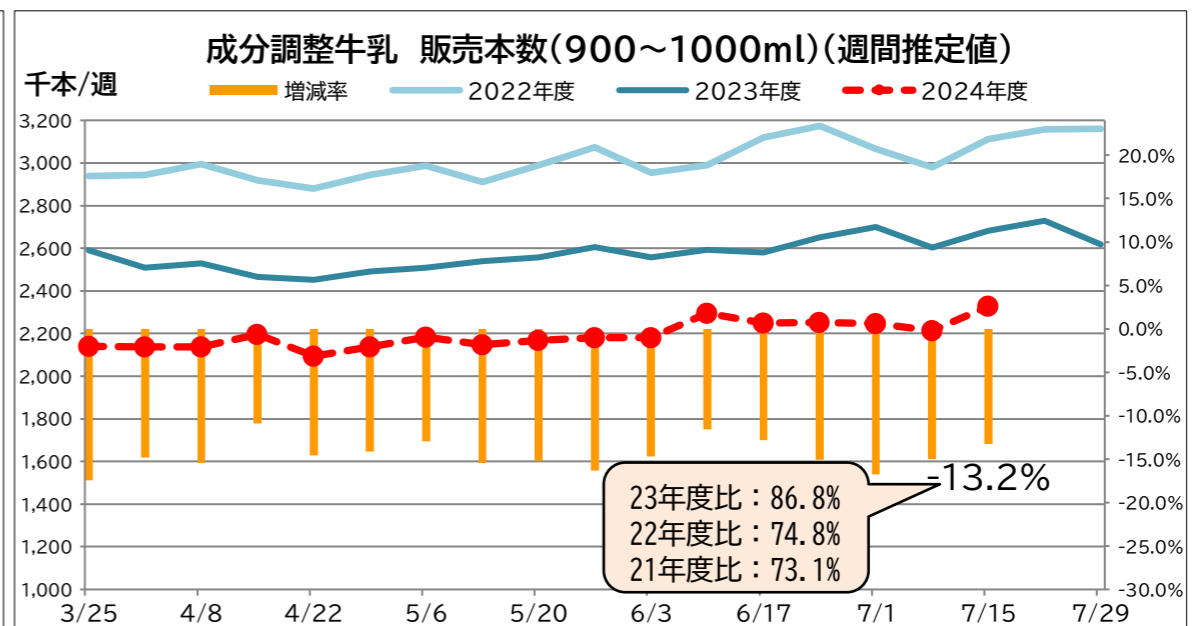
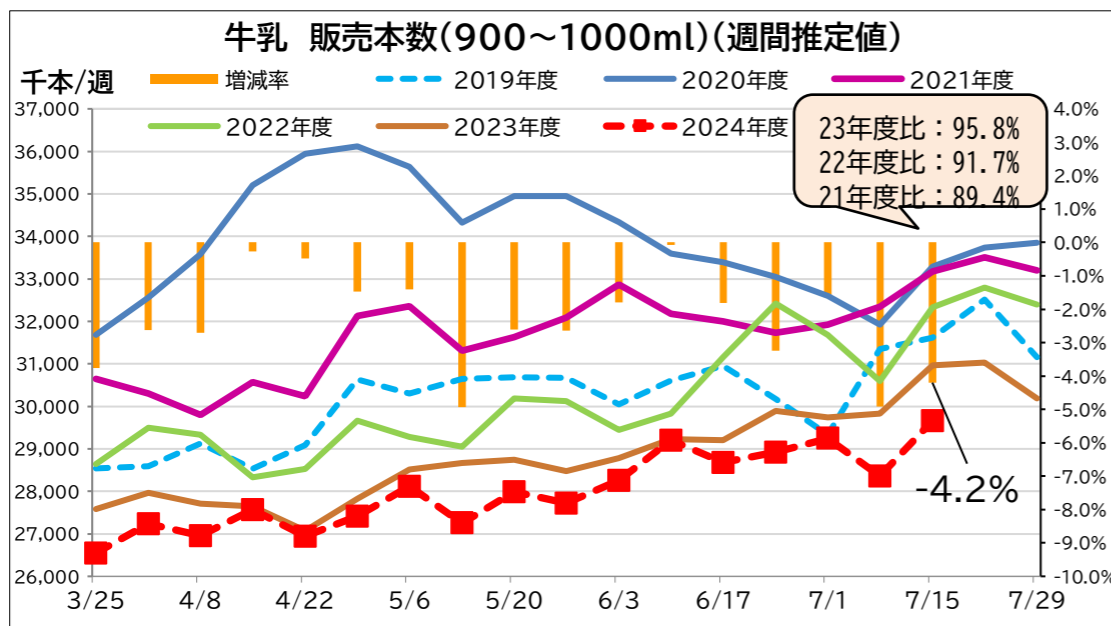
・販売単価は、牛乳:224.4円、成分調整牛乳207.3円、加工乳:216.9円、乳飲料:173.2円。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	5.27-	6.3-	6.10-	6.17-	6.24-	7.1-	7.8-	7.15-	24.7.15- 22.10.24 価格差	24.7.15- 23.3.20 価格差	24.7.15- 23.7.24 価格差
		販売個数	36,283	36,880	38,202	37,360	37,801	38,178	36,975	38,724		
トータル	販売個数前年比	97.1	98.9	101.0	98.8	97.7	98.0	94.8	96.0	32.3	17.4	15.0
	販売単価	215.5	215.6	215.7	215.8	215.9	215.8	216.4	215.5			
牛乳	販売個数	27,722	28,260	29,207	28,676	28,926	29,247	28,363	29,659			
	販売個数前年比	97.4	98.9	100.7	98.9	97.5	98.3	95.1	95.8	34.1	17.8	16.6
成分調整牛乳	販売個数	2,180	2,181	2,294	2,249	2,252	2,247	2,214	2,327			
	販売個数前年比	83.7	85.6	88.7	87.4	85.1	83.3	85.0	86.8	33.6	18.7	14.1
加工乳	販売個数	828	822	855	804	851	886	819	891			
	販売個数前年比	114.4	114.6	117.0	109.1	112.6	113.7	105.6	111.5	26.0	15.7	5.1
乳飲料	販売個数	5,553	5,618	5,845	5,630	5,772	5,798	5,579	5,846			
	販売個数前年比	100.0	102.9	106.6	102.5	102.9	101.1	96.4	99.3	23.5	13.7	9.0
	販売単価	173.3	173.1	173.4	173.1	172.8	173.3	173.1	173.2			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(7/15週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同100%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上(3品目合計前年同期比90%以上)。

(2)前週(7/8週)との比較では、3品目すべてのカテゴリーで増加した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

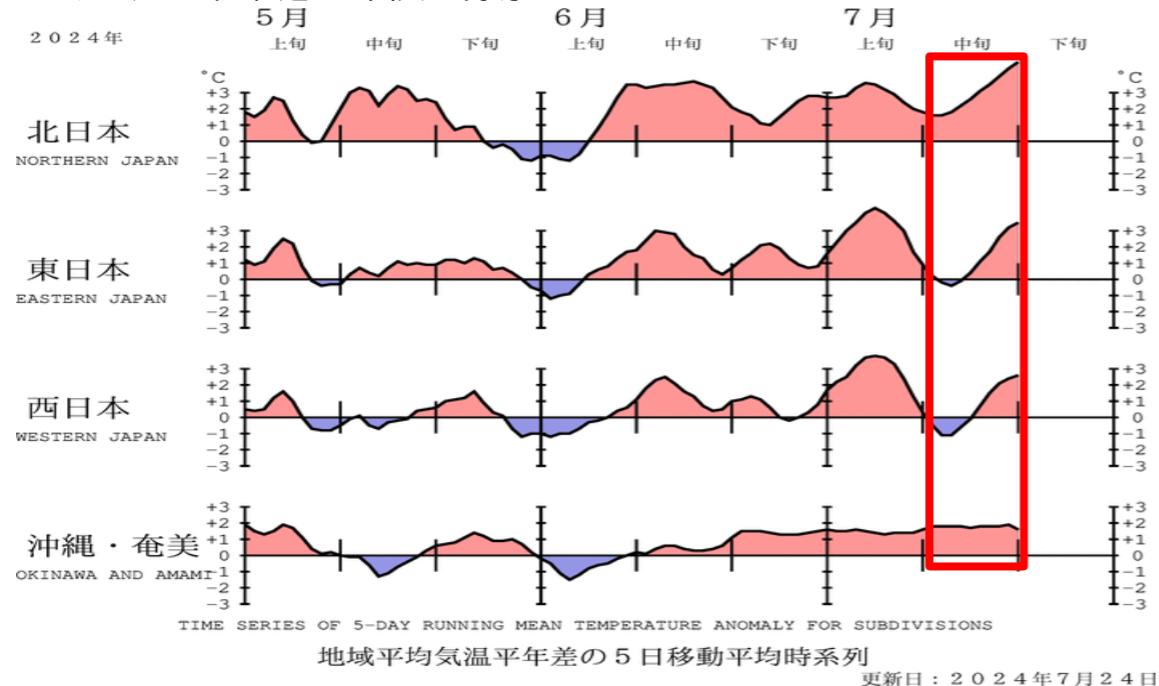
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	5.27-	6.3-	6.10-	6.17-	6.24-	7.1-	7.8-	7.15-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→
大容量タイプ	→	→	→	↘	→	→	↘	→

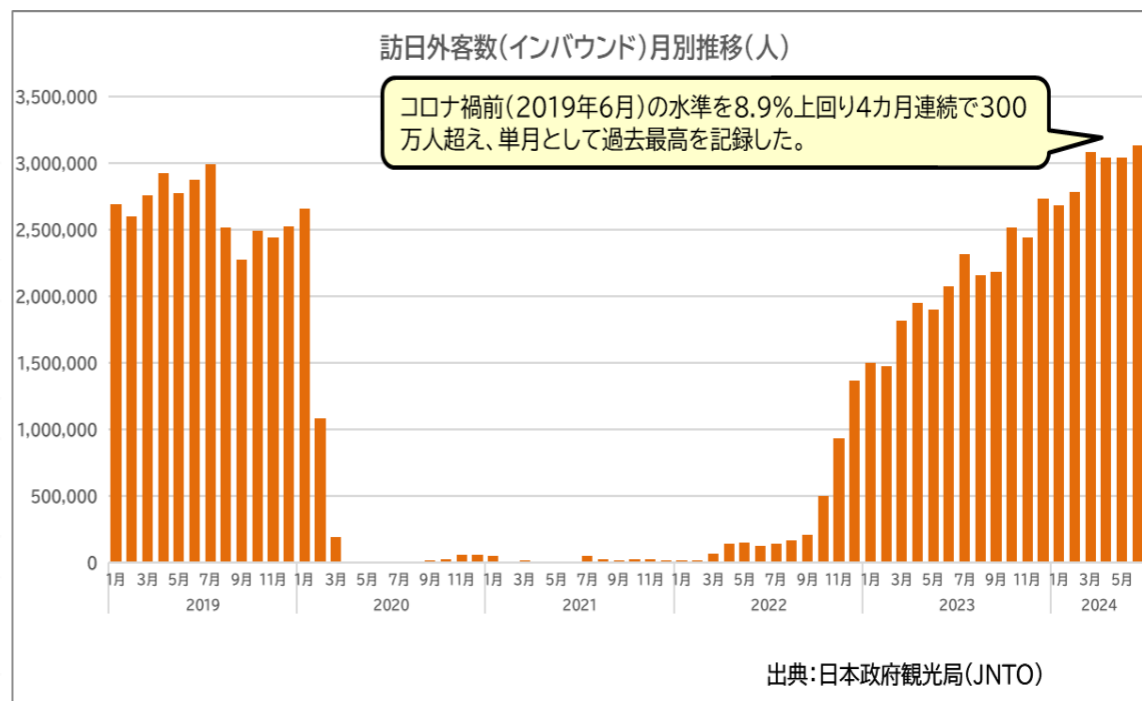
- : 前年比90%未満
 : 前年比105%以上110%未満
- : 前年比90%以上100%未満
 : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※7/15週の気温経過 出典:気象庁



訪日外客数(インバウンド)月別推移(人)



※「2024年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」